



号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3536-9883 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

まつりごと
**政は
民にあり!**

第6回 賢ちゃんまつり

日 時：平成22年10月31日(日) ※雨天決行致します。

場 所：午前11時から午後2時まで

相模原総合卸売市場 青果市場ドーム前駐車場

相模原市中央区東淵野辺4-15-1

電車：JR横浜線古淵駅から徒歩10分

バス：16号線沿い「老人ホーム入り口」

停留所から徒歩3分

内 容：模擬店 … やきそば・やきとり・その他いろいろ!

演 芸 … 歌、舞踊、チアリーディング、そして太鼓!

抽選会 … 13時開催予定!

政治の師・衆議院議員ふじい裕久先生来場予定です!

どなたでも自由に
ご参加いただけます



第5回賢ちゃんまつりの様子

あなたも民主党に 参加してみませんか

民主党は、生活者、勤労者、納税者、障がい者の立場にたって考え、21世紀の扉を開く新しい発想の政党です。

もとむら賢太郎事務所では、民主党への入党を受付けています。年間党費は6,000円です。入党された皆様にはメンバーズカードを発行し、民主党機関誌・プレス「民主」を月に2回お届けします。

ポスターを掲示させてください

ぜひ、ご自宅の玄関やフェンスなど皆様のお近くに「もとむら賢太郎ポスター」を掲示させていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



もとむら賢太郎プロフィール

- 相模原幼稚園・市立桜台小・相模台小・県立麻溝台高校・青山学院大卒。
- 本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)、藤井裕久代議士秘書。
- 平成19年県議会議員選挙にて、35,462票で2期目当選(トップ当選)。
- 平成21年8月衆議院議員選挙にて、157,644票で初当選を果たす。
- 地域活動・相模原自衛官募集相談員・相模原シティライオンズクラブ

相模原市の歪んだ区割(14区・16区)を必ず見直します!!

■相模原事務所

〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-15-1
相模原総合卸売市場E棟7号
TEL 042(768)9055 FAX 042(768)9066

■国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館305号
TEL 03(3508)7460 FAX 03(3508)3290

■ホームページ

http://dpj-kanagawa14.jp/motomura/

■メール

motomura@dpj-kanagawa14.jp



相模原から日本を変える!

衆議院議員

もとむら ^{けん た ろう} 賢太郎

国政報告新聞 vol.3

代表選挙について

皆さんご承知のとおり9月14日の党代表選挙で菅直人さんの続投が決まり、新たな党役員と閣僚により菅直人改造内閣が始動しました。代表選の直後には党内にしこりが残ったなどと報じられましたが、国難ともいえる経済、雇用情勢のなかで、党内の総力をあげて国民生活を守っていくのは当たり前のことです。

しかし、政権交代から一年が経ち、マニフェストでお約束したことで、いまだ出来ずにいることがあります。自分たちに都合のよい言い訳をしていたら、今までの政権と変わりません。一つ一つ国民に誠実に丁寧に説明していく政権にこそ、国民の期待があるはずです。

政治に立ち止まる暇はありません。新しい民主党と菅内閣に、皆さんのご協力をお願いします。

引き継ぎ **文部科学に決定!!**
委員会理事



9月25日(土)

庶民派・河村たかし
名古屋市長の応援へ

恒久減税、議員報酬半減などの条例案を次々に市議会に否決され、市議会解散(リコール)署名活動を展開されている河村たかし名古屋市長の応援に行っていました。市長の改革への熱意と行動力には頭が下がる思いです。

平成21年7月12日
相模原大宮駅街頭演説にて

テレビ番組に出演しました。

TBSの「サンデーモーニング」とテレビ朝日の「やじうまプラス」の二番組から代表選に絡んで密着取材を受けました。急な出演でお知らせもできませんでしたが、放送をご覧いただけた方も多く、たくさんの反響をいただきました。

皆さんの一票一票から選ばれ働かせていただいているのですが、何をしているか、何を考えているのか、幅広くお伝えするのは難しいことです。幸いに最近の私の活動が両局の目に止まり密着取材となりました。これからも、私の活動を皆さんに広く発信していきます。



もとむら賢太郎の国政報告

拉致問題特別委員会に質疑登壇

参院選後に開かれた8月の臨時国会は会期の短いものでしたが、私が所属する拉致問題特別委員会が開催され質疑登壇することができました。

金賢姫元工作員の来日直後でしたから、質疑に立った委員からはその件について問いが集中しました。

しかし私は、政権交代から1年弱が過ぎ、民主党政権が拉致問題解決のために何を成したのかを問いました。ご存知のとおり日朝交渉は硬直化し解決に向けた進展はありません。中井大臣は就任以来、そういう状況でも、できることをとにかくやるという姿勢を貫いてきたと思います。金元工作員や朝鮮労働党の黄元書記の招聘もこのためです。批判もありますが、拉致被害者のご家族が高く評価をしている事実は見逃せません。

もう一つ大事なことは拉致問題を風化させないことです。小泉元総理の訪朝から8年が過ぎ、国民の関心にも残念ながら変化があります。しかし、肉親を拉致されたご家族の苦しみに1日の休みもありません。

中井大臣の答弁には解決に向けた真剣な姿勢を感じることができました。私は、拉致された皆さん全員が帰国される日まで、この問題の解決に取り組んでいきます。皆さんのご協力をお願いします。

浜岡原子力発電所の視察

有志の国会議員6名で静岡県御前崎市にある浜岡原子力発電所を視察してきました。中部電力が管理するこの原発は国内最大の発電量を誇る5号機をはじめ新旧六機の原子炉が建ち並ぶ巨大な施設です。東海地震との関連から耐震性に注目が集まる原発でもあります。

皆さんはIAEA（国際原子力機関）という名前をよく耳にするとと思います。最近も東アジアや中東での核開発疑惑などに対する査察などで頻繁に報道に登場する「核の番人」とも呼ばれる国際機関です。あまり知られていないのですが、日本の原発にもIAEAの査察官が常駐し、核物質は例外なく厳重に管理されています。このように危険な核を安全に平和利用していくために、一層の努力と対策が求められています。近年、地球温暖化対策のためには、もはや原子力発電に頼らざるをえない現状もあります。一方では、原発をめぐる不祥事も相次ぎました。政府と電力各社には一層の努力と情報公開が求められています。エネルギー政策や環境問題、そして核について改めて考えさせられる視察でした。各原発にはたいいてい展示館が併設され、巨大な施設を間近で見ることができます。皆さんも機会があったらお出かけください。



ドイツ・フィンランド教育機関等の視察

衆議院の派遣でドイツとフィンランドの教育機関等を視察してきました。

ドイツの教育施策は徹底した職業訓練が特徴です。中学校卒業段階で子どもたちは将来の職業を選ばねばなりません。その選択により進学する学校が決まります。もちろん、その後も進路の変更は可能です。それに比べ、日本の初等中等教育は、社会人として必要な知識を幅広く学ばせることに目が行きすぎ、学ぶ目的がはっきりしなくなっているように感じます。ニート対策などから、今になってキャリア教育などという就労を意識した施策が打ち出されていますが、卒業したら即就職するのではなく、インターンシップなど、在学中から学校と職場の橋渡しをする制度は外国に進んだ例がたくさんあります。ドイツは長い伝統を持つ好事例の一つです。

フィンランドは、学力の国際比較で常に上位を占めている教育大国です。そ

の理由の一つに常に上げられるのが教員の養成制度です。実践経験を重視するその養成制度では、小学校や中学校での実習を重視し、適性や必要な知識、能力が磨かれていきます。こういった厳しい教員養成制度が成り立つ背景には教員に対するフィンランド国民の尊敬があります。実はこの制度は1995年から始まった比較的新しい制度です。直接日本に当てはめられませんが、同国の徹底した教育無償化政策と合わせて大いに参考になりました。

いわゆる海外視察に対しては費用対効果の点で批判もあり、神奈川県議会では実質廃止しています。今回初めて国会の海外視察に参加しましたが、学ぶべきものが盛りだくさんで、物見遊山とは程遠いものでした。結局は視察で得た知識をどのように施策に反映できるか、国民に還元できるかが問題です。責任を持ってこれからの活動にいかしていきたいと思います。

「藤井裕久を囲む会」設立総会が開催されました。

私の政治の師である元財務大臣藤井裕久先生の職務復帰のお祝いと、「藤井裕久を囲む会」設立総会が8月29日（日）に行われ、20年以上に渡りお世話になっている地元の皆さんとの懇親を深めました。

当日は定員を大きく上回る300名近い方にお集まりいただき、会場が埋め尽くされました。

藤井先生にもご登壇いただき、政治経済に関するご講談をいただきました。

「藤井裕久を囲む会」は従来の「藤井裕久後援会」の発展的再生を目的とし、藤井先生と市民を結ぶ絆の会として設立されました。

地域主権時代における政治学習の場として、私も深く関わらせていただきたいと考えております。



平成23年度予算要望ヒアリングを開催致しました。

9月11日に市内各種団体の皆さんにお集まりをいただき、国・県・市などに対しての来年度予算要望をお聞かせいただくために、民主党相模原市総支部協議会（神奈川県14・16区の市内選出の市議会・県議会・国会議員から構成されております）による団体ヒアリングを行わせていただきました。

民主党相模原市総支部協議会では、初めての試みでしたが、20団体をこえる皆さんから、様々なご意見をお聞かせいただき、各議員と意見交換をさせていただきました。

具体的なお話を基に、予算や政策に反映させていきたいと思っています。今後もしっかりと意見のキャッチボールを行っていききたいと思います。

